



2019年 第3四半期決算説明資料

株式会社ブリヂストン

November 8, 2019

1 . 2019年第3四半期業績	3
2 . 2019年通期業績予想	9

1. 2019年第3四半期業績

2019年第3四半期 事業環境



為替

- USD、EUR共に対前年円高
1USD=107円 1EUR=119円
(参考) 18年3Q 1USD=112円 1EUR=130円
- 新興国通貨安進行

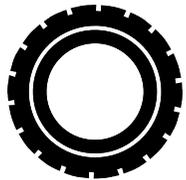


原材料

- 天然ゴム価格は対前年上回るも、原油価格は下回る

相場動向 (平均価格) 推移	2018年		2019年		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
天然ゴム (¢/kg) ※〈TSR20〉	133	127	140	151	135
天然ゴム (¢/kg) ※〈RSS#3〉	145	140	164	183	159
原油〈WTI〉 (\$/bbl)	70	59	55	60	56

※ Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格



タイヤ需要
(PSR/TBR)

- 日本では値上げ／消費増税前の駆け込み需要が発生
- 北米TBR-REP、欧米OE等で弱さが見られた

タイヤ需要※ (本数前年比) ※ 需要数値は当社推定

※2 Source: U.S. Tire Manufacturers Association

3Q	PSR		TBR		9ヶ月累計	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP		OE	REP	OE	REP
日本	106%	124%	99%	141%	日本	103%	107%	97%	118%
北米	97%	103% (USTMA101%)	99%	86% (USTMA 98%)	北米	94%	103% (USTMA101%)	106%	89% ※2 (USTMA 97%)
欧州	96%	98%	85%	101%	欧州	93%	97%	94%	104%

2019年第3四半期 タイヤ販売（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
グローバル	100%	98%

新車用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
日本	108%	105%
北米	93%	91%
欧州	99%	101%
中国・アジア大洋州	93%	96%

補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
日本	123%	107%
北米	103%	100%
欧州	98%	94%
中国・アジア大洋州	91%	90%



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
グローバル	98%	99%

新車用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
日本	97%	96%
北米	100%	105%
欧州	74%	92%
中国・アジア大洋州	83%	93%

補修用タイヤ

	3Q	9ヶ月累計
日本	126%	113%
北米	95%	92%
欧州	100%	100%
中国・アジア大洋州	87%	90%



ORR

	3Q	9ヶ月累計
超大型ORR (REPのみ)	100% (100%)	105% (105%)
大型ORR (REPのみ)	115% (135%)	105% (115%)



PSR

18インチ以上

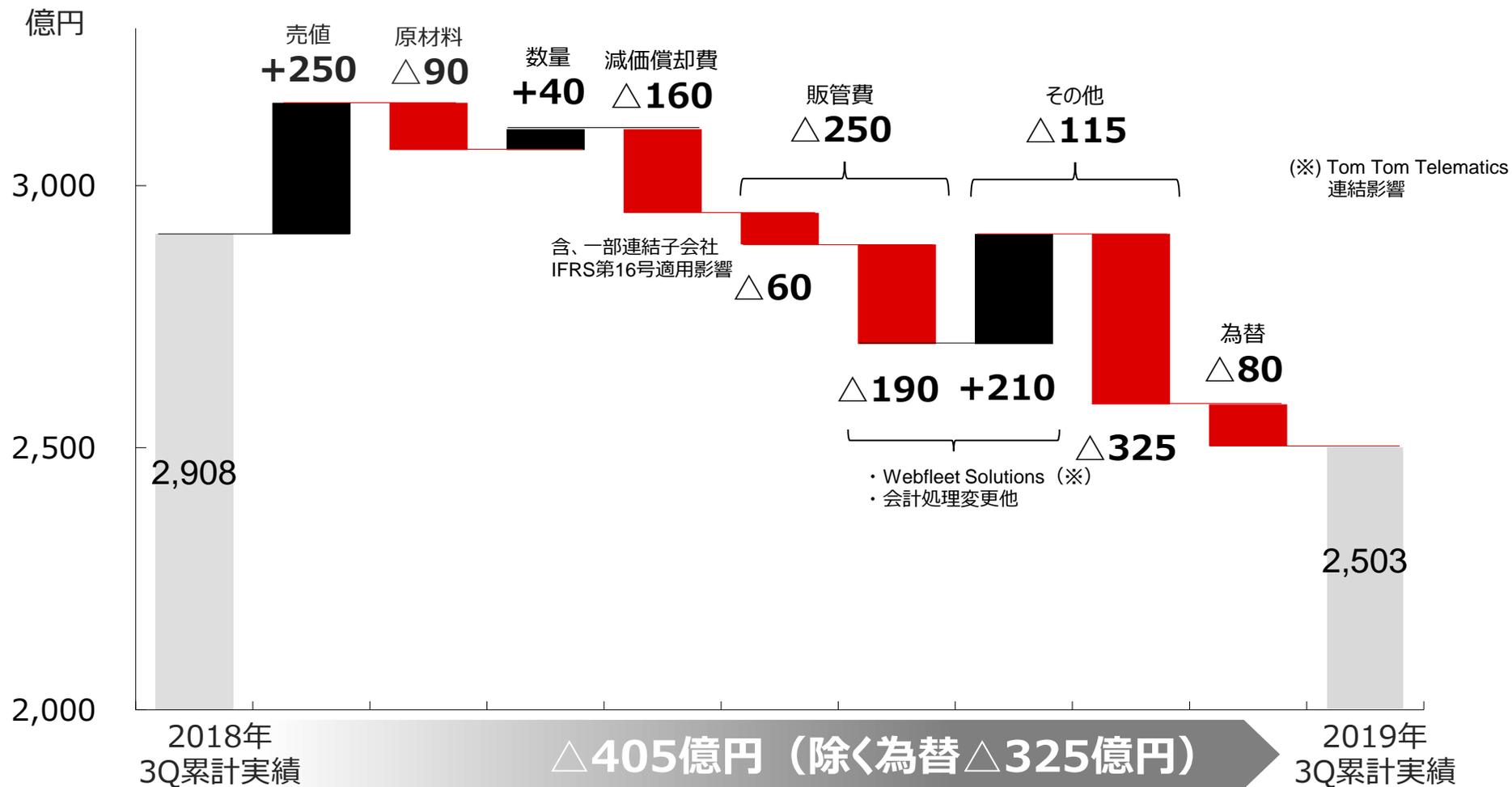
	3Q	9ヶ月累計
グローバル (REPのみ)	110% (120%)	110% (115%)

2019年第3四半期 連結業績概要

(単位：億円)

	2019年 第3四半期実績	対前年 増減 (%)	2019年 第3四半期 累計実績	対前年 増減 (%)
売上高	8,907	△1	26,353	△1
タイヤ部門	7,427	△1	21,987	△1
多角化部門	1,520	△1	4,489	△4
営業利益	919 利益率 10.3%	+1 利益率 +0.1%	2,503 利益率 9.5%	△14 利益率 △1.4%
タイヤ部門	896	-	2,481	△11
多角化部門	22	+18	21	△80
経常利益	881	+3	2,425	△12
親会社株主に帰属する 四半期純利益	866	+2	2,054	△6
USドル	107円	△5円	109円	△1円
ユーロ	119円	△11円	123円	△8円

2019年第3四半期 営業利益増減要因 (1-9月累計 前年差)



2019年第3四半期 所在地別セグメント業績概要

(単位：億円)

	2019年 第3四半期 実績	対前年 増減(%)	2019年 第3四半期 累計実績	対前年 増減(%)
連結 売上高	8,907	△1	26,353	△1
日本	2,793	+6	8,331	+2
米州	4,352	△4	12,908	△2
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	1,455	△3	4,406	△1
中国・アジア大洋州	1,460	△5	4,506	△5
連結 営業利益	919	+1	2,503	△14
日本	296	+12	842	△15
米州	396	△6	1,172	△11
欧州・ロシア・中近東・アフリカ	32	△28	97	△4
中国・アジア大洋州	111	△14	347	△24

2. 2019年通期業績予想

2019年通期 事業環境見通し



為替

- USD/EURともに対前年円高で推移する見通し
- 新興国通貨安は継続

為替動向

(単位：円)

	2018年		2019年		(参考) 8/9発表 '19年通期 予想
	通期	上期	下期	通期	
USDドル	110	110	106	108	107
ユーロ	130	124	118	121	122

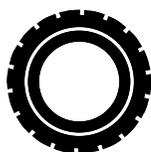


原材料

- 天然ゴムは3Qに対前年低位で推移も通期では前年を上回る見通し

原材料相場動向

	2018年	2019年		
	通期	上期	3Q	通期
天然ゴム (¢/kg) <TSR20>	136	146	135	通期では前年を上回る
天然ゴム (¢/kg) <RSS#3>	155	174	159	
原油<WTI> (\$/bbl)	65	57	56	前年を下回る



タイヤ需要 (PSR/TBR)

- OE需要減、アジア経済の減速、米中貿易摩擦による影響等を受け一段と厳しい需要環境を想定

19年通期タイヤ需要 (前年比)

(本数ベース)

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
日本	101%	99%	96%	101%
北米	92%	102%	100%	89%
欧州	94%	97%	89%	103%
アジア	90%	99%	92%	97%

(アジア：タイ・インドネシア・インド・中国の4ヶ国計)

(参考) 8/9発表 '19年通期タイヤ需要※

	PSR		TBR	
	OE	REP	OE	REP
	102%	99%	97%	102%
	93%	103%	99%	95%
	94%	98%	95%	100%
	100%	101%	98%	98%

※ 需要数値は当社推定、本数前年比

2019年通期 タイヤ販売予想（対前年販売本数比）



PSR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	若干の減
-------	------

新車用タイヤ

日本	若干の増
北米	1割強の減
欧州	若干の増
中国・アジア大洋州	若干の減

補修用タイヤ

日本	前年並
北米	前年並
欧州	1割弱の減
中国・アジア大洋州	1割弱の減



TBR

新車用タイヤ+補修用タイヤ

グローバル	前年並
-------	-----

新車用タイヤ

日本	若干の減
北米	前年並
欧州	1割強の減
中国・アジア大洋州	1割弱の減

補修用タイヤ

日本	若干の増
北米	1割弱の減
欧州	若干の増
中国・アジア大洋州	1割弱の減



ORR

超大型ORR (REPのみ)	105% (105%)
大型ORR (REPのみ)	100% (105%)



PSR

18インチ以上

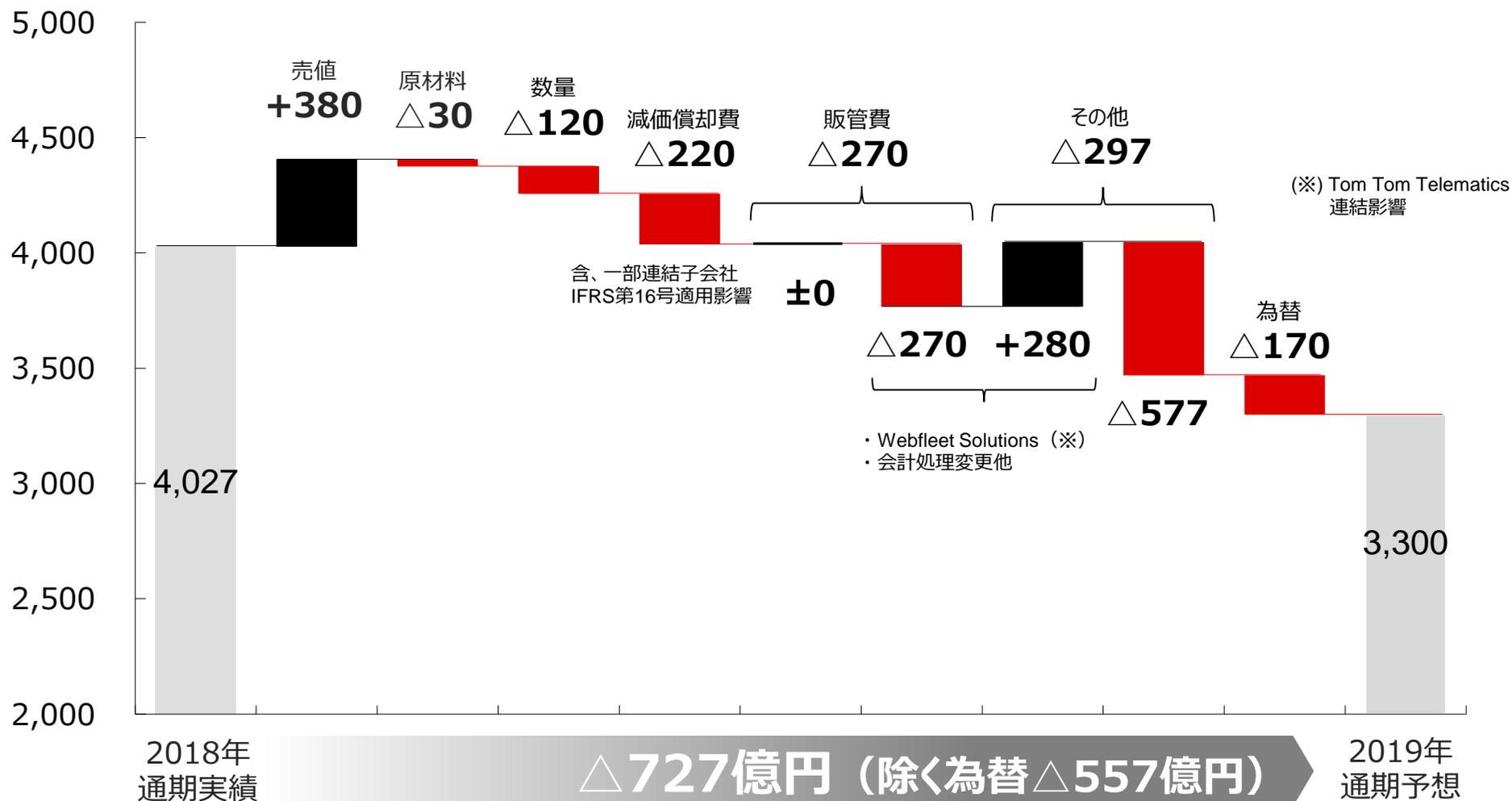
グローバル (REPのみ)	105% (110%)
---------------	-------------

2019年通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2018年 通期実績	2019年 通期予想	増減 (%)	(参考 '19/8/9発表) 2019年通期予想
売上高	36,501	34,900	△4	36,200
タイヤ部門	30,514	29,100	△5	30,300
多角化部門	6,187	5,800	△6	5,900
営業利益	4,027 利益率 11.0%	3,300 利益率 9.5%	△18 利益率 △1.6%	3,750 利益率 10.4%
タイヤ部門	3,939	3,300	△16	3,730
多角化部門	89	0	-	20
経常利益	3,811	3,150	△17	3,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,916	2,750	△6	2,900
USドル	110円	108円	△2円	107円
ユーロ	130円	121円	△9円	122円

2019年通期 営業利益増減要因予想 (前年差)



総括

連結業績

3Q実績	為替がマイナス要因となるも、売値良化、タイヤ販売増（鉱山用タイヤ含む）等により前年比増益
通期予想	最新の市場動向を基に足下の事業リスクを4Q業績予想に織り込み、通期予想を8/9発表計画から見直し

Highlights

- 3Qは日本で値上／消費増税前の駆け込み需要が発生したが、グローバルではOEを中心に需要の弱さが見られた
- 近年急速な需要成長が続いてきたORRについては、REPが引き続き堅調に推移する一方、OE需要に減速が見られる
- 需要が弱含む中、適正な価格水準維持とミックス向上に注力するとともに、市況を注視しながら適切な需給調整を行っていく
- PSR-HRD（18インチ以上）は欧米を中心に高い伸長を続けており、引き続き成長を見込む

国際財務報告基準(IFRS)の適用とセグメント変更について

2020年度からの変更点

- グループにおける経営管理の品質向上を目的とし、2020年度からIFRSを任意適用
- 併せて、弊社SBU体制に基づくより適切な業績開示を目的として開示セグメント区分を変更

IFRSへの移行に伴う開示スケジュールについて

- 2020年2月の来年度連結業績予想を、IFRS基準／新セグメント区分にて公表予定
- 2020年5月の来年度第1四半期決算より、IFRS基準／新セグメント区分にて業績開示予定

開示セグメント区分の変更について

- これまでの「事業別」「所在地別」での開示セグメント区分を統合し、4つの新セグメントに変更

19年実績まで：

連結 事業別セグメント

タイヤ

多角化

連結 所在地別セグメント

日本

米州

欧州・ロシア・中近東・アフリカ

中国・アジア大洋州

20年1Q実績から：

連結 新セグメント

日本

米州

欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ

中国・アジア・大洋州

- ※ 詳細は本日付の当社ニュースリリースをご参照ください。



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。